

■ **ジミー＝アラキ**(James T. Araki) 日系二世アメリカ人の日本文学研究者。日本ではジャズ音楽家ジミー荒木として神様扱い。
 じみいあらき
 円本時代始・1926＝ アメリカのユタ州ソルトレイクシティで、鳥取県から移民しカリフォルニア州サリナスで農業を営むうち、同州の日本人移民排斥で転住してきたホテル経営者荒木彦太郎・琴美の末子に生まれる。兄と2人の姉。

世界恐慌・1929＝ 3歳：世界恐慌によって、ホテル経営が苦しくなり、

満州事変・1931＝ 5歳：

国際連盟脱退1933＝ 7歳：一家で日本に帰国。中野の野方尋常小学校に通う。成績優秀の一方、姉からピアノを習い始める。この間、父は麻布材木町の出雲大社東京分祠で神道を学び、

芥川直木賞始1935＝ **9歳**：一家で再渡米し、もともと日本人が多くすでに映画の町となっていたハリウッドに居住、父は出雲大社教の看板あげ神前結婚式を生業とする。

日中戦争始・1937＝11歳：この間、母の方針で早稲田大学の通信講座で日本語を学ぶ一方、全く専門的な音楽教育を受けずに独学で、楽器を自在に操り、作編曲もできるようになる

日米開戦・1941＝15歳：パンクロフト中学を卒業し、ハイスクールに通い始めたところ日米開戦となり、
 ・1942＝16歳：日系人としてロサンゼルス郊外の強制収容所に入れられる。軍直轄でなく新たに設置された大統領直属の文民局の緩やかな管理のもと、
 創価学会換拳1943＝17歳：収容所内の高校に通い、頭が良く、棒高跳びはじめあらゆるスポーツをこなし、バンドを組んでダンスパーティなどで演奏、アルトサックスもマスターするなど、スター並みの人気を得、生徒会長にまでなる。
 年金＋総武装 1944＝**18歳**：卒業すると、合衆国政府に忠誠誓い、日本人徴兵1期生として応召、アメリカ陸軍に所属、
敗戦・1945＝19歳：陸軍情報部日本語学校の教官となると、結成されたダンスバンドにも参加し、本場シカゴやニューヨークにジャズを聴きに行き、新しい演奏法ビバップも身につける。日本の敗戦で、
 新憲法公布・1946＝20歳：***兵役延長して進駐軍に加わり来日。GHQの情報部門に勤務、集中的に日本語の資料翻訳して表彰される一方、空軍ジャズバンドのリーダーとなり、南里文雄に出会い、ジョージ川口・フランキー堺ら日本のジャズメンと親交、ビバップを広める。渡辺貞夫らもその影響を受けて巣立って行く。**
 新憲法施行・1947＝21歳：自作「A・P・O・500」を録音し、日本の戦後初のジャズレコードとなる。
 極東裁判判決・1948＝22歳：ついで「東京リフ」「イン・ザ・メランコリウムード」「イーストサイド・ブギ」などをリリース。除隊後も、
 三大事件・1949＝23歳：1年延長して翻訳の仕事を続け、意欲的な作品「ジミーズ・バップ」録音後、帰米。生活が保障される身分でロサンゼルスに住み、両親を引取る。UCLAに入学、音楽を専攻し、週末はダンスバンドなどで演奏。

朝鮮戦争始・1950＝24歳：朝鮮戦争が始まると、再び召集され、
独立回復・1951＝25歳：韓国に派遣され、捕虜の尋問に当たるうち、病となって、北海道の第一騎兵師団に異動。
 メデー事件・1952＝26歳：除隊。この際、どの分野でもエリートコースに乗れるような高評価の成績表を得るも、再びUCLAに戻ると、今度は中世文学を専攻。なお週末ごとにサンフランシスコの海軍基地のステージに立ち、

テレビ放送始・1953＝**27歳**：
 自衛隊発足・1954＝28歳：卒業すると、UCBの大学院に進んで日本文学を研究し、演奏も続けるうち、
 ライオネル・ハンプトンに見出され、その楽団に参加、
 55年体制始・1955＝29歳：ハンプトンのレコードアルバムでアルトサックスを吹いたりするも、欧州ツアーに誘われたのを断り、
 なべ底不況・1957＝31歳：日系2世の娘と結婚すると、単身再来日し、京都大学で日本文学を研究、空前のジャズブームのなか、
インサウターメン・1958＝32歳：ジョージ川口に誘われ8年ぶりにステージに立ったほか、各バンド支援。東京大学に移り、唯一「幸若舞」が伝承されている瀬高を訪問して記録を採るなど、研究を続け、
 美智子妃・1959＝33歳：***一人で複数楽器を演奏した伝説のアルバム「ミッドナイト・ジャズ・セッション」を置土産に、帰米。**
安保闘争・1960＝34歳：UCBの大学院に戻り、日本での「幸若舞」の研究をUCB文学部始まって以来の優れた論文にまとめ、
 たいがい病始・1961＝35歳：長男が誕生する一方、父が死去。***「The ballad-drama of medievau」で博士号を取得、UCLA助教授となる。**
 全国総合計画1962＝**36歳**：
 TV宇宙中継始1963＝37歳：次男が誕生。
東京リトル・ジャッツ 1964＝38歳：大学出版部から「The ballad-drama of medievau」刊行、「幸若舞」研究者の基本文献となる。ハワイ大学助教授に異動後、大阪市立大に留学、
 大学紛争始・1965＝39歳：長女が誕生。ハワイ大学に戻り、
 美濃部都知事1967＝41歳：ペンクラブ理事井上靖をハワイ大学に招待するのに関わり、以後、井上靖の作品の翻訳に取組み、
 全共闘・1969＝43歳：次女が誕生。前年ノーベル文学賞得た川端康成をハワイに招待した一員として川端をサポート。
 大阪万博・1970＝44歳：母が死去。この年東京滞中に能について論じ合った同年齢の三島由紀夫が直後に決起自殺、批判の論考。
ドラゴン・1971＝**45歳**：ハワイ大学に創設された東アジア言語文学部の初代部長になる。
日中国交回復1972＝46歳：能楽師上田照也率いる一座がハワイを訪問した際には、解説を引受ける。
石油ショック1973＝47歳：
 ケアンブル事件1975＝49歳：
 成田衝突・1978＝52歳：ようやく「天平の甕」の英訳「The Roof Tile of Tempyou」が東大出版会から刊行される。
 ペーパーバック版「The ballad-drama of medieval Japan」。論文「百合若大臣とユリシーズ」を発表、坪内逍遙が唱え南方熊楠が支持しながら無視されてきたオデュッセイア翻案説を証明し話題となる。
 サイデンステッカーと共に、井上靖「楼蘭」を英訳。

革新大敗北・1979＝53歳：
貿易摩擦問題1980＝**54歳**：
中曽根内閣・1982＝56歳：{読売新聞}にインタビュー記事。
 ・1984＝58歳：ハワイ大学を定年退任し、名誉教授。
ジャコビ機墜落1985＝59歳：山崎豊子「不毛地帯」を部分英訳、
 昭和天皇没・1989＝**63歳**：井上靖「風濤」を英訳などする一方、気を紛らすようにホテルのジャズクラブなどで演奏し続けてたが、
ドイツ統一・1990＝64歳：癌に倒れ、日本から勲四等旭日小綬章を贈られた後、
ソ連崩壊・1991＝65歳：没した。